

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	親子の絵本ふれあい講座 ～心のふれあいの大切さ、子供を取り巻くメディアの危機～		
事業主体 (連絡先)	喬木村 椋鳩十記念館	市瀬直紀	電話 0265-33-4569
事業区分	教育、文化の振興		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	545,700 円	(うち支援金: 540,000円)	

事業内容

生まれた直後の乳幼児期から、テレビを始めとするメディアに取り巻かれ、現在の子供たちの心の発育に障害が出ていることが各方面から指摘されている。心の健やかな発育を願い、村出身の児童文学者、椋鳩十先生が提唱した『母と子の20分間読書』活動の精神を現代社会にもう一度広めようと、各方面から講師を招いた講演会活動や、読書会活動に取り組んだ。



【ボランティアによる読書会活動風景】

自己評価(事業実施率) 【 A 】

事業効果

椋鳩十記念館・図書館を中心に活動する各種団体に呼びかけ、講演会講師の選定やそれに合わせて開催する協賛行事などの打ち合わせを行い、チラシ作成や呼びかけ活動を行った。その結果、講演会の回数が増えるにつれ参加者も増やすことができ、親子ふれあい読書の大切さを多くの方に認識してもらうことができた。

【目標・ねらい】

- 子供の健やかな心の発育推進
- 地域活動としての読書会開催
- 親子ふれあい読書運動の拡大

自己評価(事業実施率) 【 A 】

今後の取り組み

現在は記念館・図書館内で行っている読書活動だが、椋鳩十散策路やそれに隣接する公園などでも読書会が開催できるようになれば、椋先生が愛した伊那谷の自然を肌を感じながら、より楽しく親子読書を体験できるのではないかと考えており、野外活動にもフィールドを広げていきたい。